



遠く倉吉を想う

団塊の世代が退職を迎えられるこの時期、倉吉市を離れ都会や県外で暮らしている人からの声の便りです。気持ちを投稿していただきました。

文中の標記は、
①名前、②現住所、
③年齢、④出身町
名、⑤県外へ出られた理由



「佐野山に在った関金小学校」

今は残っていませんが、私の通っていた小学校は、佐野山という山の頂上にあり、当時としては、中部地区では珍しい小学校



「幼き日の故郷の四季」

故郷、倉吉を出てから45年。今年は社会人を卒業して、また新たな気持ちで、色々な事に挑戦しようと考えています。最近特に想うのは、倉吉での幼き日からの懐かしさ。春は、打吹公園の桜

だということでした。学校の屋上からは見晴らしがよく、前を見下ろせば、倉吉平野が望め、後ろを見上げれば蒜山が拝めるというとても素晴らしい所でした。登校時はきつい坂道を1時間かけて登り辛い思いをしましたが、今では良い思い出です。金木屋が香る時期は、いつも思い出します！関金小学校を。
①保田博実さん②埼玉県坂戸市③54歳④関金町⑤高校卒業後就職のため



「ラジオ体操と八幡神社」

小学生のころ、子ども会での夏休みのラジオ体操は思い出です。早起きは三文の徳。



「倉吉を想う」

東京で暮らすなか、倉吉と偶然出会う空間があります。ホッとしたりハッとしたり胸が熱くなったり：意外なところで瞬時に現れるので、自分の感情や

公園でのラジオ体操が終わると、八幡神社の鳥居をくぐり階段を上り境内

まで八幡の森を往復し町内一周マラソンをしてから家に帰りました。今でも続いているようです。秋には小学校帰りに神社の椎の実を拾って家で炒って食べていました。神奈川の小学生もラジオ体操をしますが、町中にある一区画ほどの神社の境内で、夏休みの最後の5日間だけです。
①福光 洋さん②神奈川県相模原市③46歳④八幡町⑤高校卒業後進学と就職

見ている世界が一変してしまいます。秋の初めに郊外を訪ねた際、電車の中でまたまた倉吉に再会しました。都心から一時間も離れると、山に囲まれた街があることに驚くより前に、倉吉に自分が戻ってしまうのです。倉吉へ一瞬にして、スライドしてしまう自分はやはり一生倉吉つ子だなと思います。
①加藤美音さん②東京都練馬区③32歳④東仲町⑤就職のため



「打吹公園の桜」

桜の季節になると、打吹公園の桜を思い出す。私のいる東京・浅草の隅田川沿いの桜並木も全国的に有名だが、私にとつては打吹公園の桜がNo.1！アーチのような桜小



「小鴨小学校新築に寄せて」

小4の時、ワクワクしながら第一歩を踏み入れた校舎が、新築されると聞いた。当時、何を考えていたのか、教室の窓から見える蒜山に連なる山並と、空をぼんやり眺め

ているのが好きだった。子どもをめぐり、悲しいニュースが多い今日と比べ、豊かな自然に囲まれ、ゆったりした時間の中で幸せな子ども時代だった。時の流れの中で、慣れ親しんだ場所が変わっていくことは淋しいが、その思い出は、故郷を離れても、鮮明に心の中にある。
①穂久麻里子さん②大阪府吹田市③49歳④西倉吉町⑤結婚

路・手作りの提灯・ノスタルジックな世界へと導くような幻想的なライトアップ・花見客の賑やかな声。子どものころのワクワク感が今でも蘇ってくる。桜の木の樹齢が全国的な課題となっているが、打吹公園の桜もいつまでも守り続けていたきたいと願ってやまない。
①荒井智江さん②東京都葛飾区③35歳④瀬崎町⑤高校卒業後進学と就職

遠く倉吉を想う



「倉吉の財産は自然」

私が生まれ育った久米ヶ原の広大な地は、自然が多く私にとって癒しの場となっています。

幼児教育に携わり、園外に出る事に規制がかかる都会に比べ、広大な自然に囲まれ存分に遊べるすばらしさは、都会では味わえない「倉吉の財産の一つ」と、ふるさと倉吉を誇りに思っています。

「30人の子どもたちを倉吉の地へ招待し、喜ぶ顔が見たいなあ」。

①松本 理さん②福岡県福岡市③25歳④横田⑤学校卒業と同時に就職



「へうしよい まち」

あまりに人が多く集まってしまった東京ですが、こまつた人を助けることもすぐに手

をさしのべる人もいる東京でもある。そうした場合がなくても信用できる人がいる、くらしよ倉吉であることを強く思います。

いつまでもそうであってほしい。かわりばんこに助け合うことを共有するまちでありつづけてほしい。

①笠見 猛さん②東京都江東区③56歳④中野⑤仕事の都合



「緑濃い故郷の山林」

帰省の際、山林の色合いを見て倉吉に戻ってきた事を実感します。現在住んでいる所からも山林は見えますが、打

吹山や四方寺山、国庁裏神社の森と比べると物足りなさを覚えます。都会育ちの妻は「パセリとプロッコリぐらいい密度に差がある」と感嘆していました。昔は初夏の雨上がりの緑が鮮やかだったのですが今はどうでしょう。山林以外にも素敵な自然がすぐそばにあるのが倉吉の良いところだと思います。

①大羽 宏さん②神奈川県③42歳④福光⑤就職のため



「生田橋」

私が小学生のころ、通学で渡っていた生田橋は人が通れるだけの狭い木の橋でした。

台風で流されてしばらく通れなくなりましたが、修理され再び渡れるようになりました。

た。修理されたばかりのその橋をおさるおさる渡った事も覚えていません。

中学生になるころには現在の橋が架かり、古い橋はもうありません。

今では考えられないようなその木の橋は、いつまでも忘れられない大切な思い出の橋です。

①藤川道子さん②広島県③35歳④富海⑤高校卒業後、進学のため



「遠く関西から倉吉を想う者たちのひとりとして」

「なにしとっさいや「よくそがな」だらづけなく」。「関西・倉吉中部会」での会話のひとつである。

この会は3年前から3カ月に1回開かれていて、1年に1回の県人会も楽しい

が、ここでは村の名前・家族の名前まで出る。そして、祭りのこと、学校のこと。天神川もいつもみんなの眼が輝いている。飲むほどに、60と70代が多いのに。

①伊藤博章さん②大阪府茨木市③67歳④海田西町⑤高校卒業と同時に上阪



「変わらぬ風景」

帰郷。私は家のそばを流れる国府川沿いを、犬との散歩で楽しむ。そこには倉吉を出るまでの十数年間の風景が今も変わらずにある。大山・打吹山



「山だけは動かんけなあ...」

列車派の私は「トンネルを抜けるとふるさとだった」というぐあいに駅近くの山をくぐって帰省します。竹田橋上で突如広がる「打吹山」と「大山」のツーショットで倉吉を、生田橋

「打吹山」と「大山」のツーショットで倉吉を、生田橋を抜けるとふるさとだった」というぐあいに駅近くの山をくぐって帰省します。竹田橋上で突如広がる「打吹山」と「大山」のツーショットで倉吉を、生田橋を抜けるとふるさとだった」というぐあいに駅近くの山をくぐって帰省します。

倉吉の街・通った学校...。そしてそれは、共に過ごした家族や友との時間、そして当時の自分を思い出さず。時々、私にはそんなささいなひとときが必要になる。そしてその時間が、私にまた先へと歩んで行くための力を与えてくれる。

無くしたくない、時間と風景である。

①福井康秀さん②大阪市東淀川区③28歳④国府⑤高校卒業後進学と就職

に？(模写)という版画にして東京の個展で展示してくださった故・長谷川富三郎先生によって歌にまでなった、名山、です(笑)。

三方を山と丘陵の畑に囲まれ、おっとりとした里である富海のその畑の丘から、西に大山、蒜山、東南に富海三山と打吹山を眺めるのが子どものころからの楽しみでした。

山だけは昔も今も眺めてるぶんには変わりありません。その山の向こう側にあるのが、今も逆倉吉に変わりました。でもあこがれる気持ちは当時と変わっていません。

①川西義人さん②東京都杉並区③58歳④富海⑤受験、就職

「育む年」へのメッセージ

倉吉市長 長谷川 稔

新年あけましておめでとうございます。昨年が雪に見舞われての年明けであっただけに、おだやかというだけでも年始めがありがたく思われます。

年頭にあたり、今年は第10次倉吉市総合計画の将来都市像「人と自然と文化がつくる」キラリと光る新中核都市」の実現に向け、市民総結集により愛着をもつていきいきと安心して住み続けることのできるまちを築いてまいります。その中で、人口減社会にあつて重点課題とした「若者の定住化促進」をあらゆる施策、取り組みを通して進めていきます。就職機会の開拓、子育て支援、住宅取得しやすい環境条件の整備など、事業者を含め「倉吉に住み続けたい」「倉吉に移りたい、戻りたい」の気運を高めていきます。この育むことの大切さは、倉吉の明日と未来を担う基盤づくりであるからです。

当面する課題として、国民宿舎「グリーンスコールせきがね」については、この間の市議会での意見や業務改善コンサルの報告を踏まえて検討を行い、今後の運営方針を指定管理者制度として導入のための準備を



避けなければなりません。今回を機に岡山からの誘客も盛んにしていきたいと考え、行動していきます。

振り返りますと、過ぐる年は山陰初の社会人硬式野球チーム「鳥取キタロウズ」が誕生し、高校野球では倉吉同士の決勝戦で倉吉北高校が甲子園出場、高校ラグビーでも同じく倉吉

勢の決勝で倉吉東高校が県代表になるなど、若者が躍動する話題が多く、明るい気持ちにしてくれました。今後さらに若者たちの笑顔と元氣あふれるまちづくりを進める中で、1月7日には市民こそぞつて新成人を祝福する「成人式」を心を込めて開催いたします。

ところで、本市の行財政運営はここ数年交付税総額が減少する中、市民の息づかいが聞こえる市政を目指してきました。今後も財政の裏付けとなる行政改革のプランを公開し、説明責任を重視してまいります。平

成18年には地域コミュニティの活動拠点となる上井公民館と合築の上井児童センター、市営住宅「サンテラス大平」など、新装なった施設が姿を現しました。倉吉駅北側は、市による沿道土地区画整理事業の進捗よくと県主体の道路整備と相まって、よいよ南北一体化の期待が膨らんでいます。さらに小鴨小学校には真新しい校舎、鴨川中学校には屋内運動場と呼ぶにふさわしい体育館が完成します。そして、新年度には上灘公民館をはじめとする上灘中央交流促進事業が始まります。厳しい財政見通しの中であるだけに、構想段階からの苦労が多いほど、その喜びも大きいものがあるはずで。昨年末には、「倉吉市市民参画と協働のまちづくり推進条例」が生まれました。また、使用済の天ぷら油を地域で回収し、民間業者により精製し、自動車燃料として利用していくという取り組みも開始されます。市民との絆を大切に、対話により信頼を確かなものにするので、市政の推進力として可能性が広がっていくことを信じています。

市民の皆さまにとつて今年が家族愛と地域愛に満ちた素晴らしい、充実した日々となることを願っております。